

* 2014年10月改訂 第2版	
日本標準商品分類番号	872339
承認番号	(60AM) 6308
薬価収載	薬価基準収載
販売開始	不明
再評価結果	1990年3月

貯法：密閉容器、室温保存
使用期限：表示の使用期限を参照すること。

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】
ナトリウム摂取の制限を必要とする患者（高ナトリウム血症、浮腫、妊婦、高血圧症候群等）
【ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化するおそれがある。】

【組成・性状】
〈組成〉100g中
ヤンブリ末 3g
炭酸水素ナトリウム 70g
添加物としてトウモロコシデンプンを含有する。

〈性状〉
淡灰黄色で、味は苦い。

【効能・効果】
下記消化器症状の改善
食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐

【用法・用量】
通常、成人1回0.5～1.0g、1日3回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

袋：PE

紙：箱

<調剤包装単位用コード>

<販売包装単位用コード>

POWDERED DRUG



REGISTERED TRADE MARK 登録商標

日本薬局方

センブリ・重曹散

500g

製造番号
使用期限

製造販売元
日本粉末薬品株式会社
東大阪市宝町13-36

- 【使用上の注意】
- 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - 重篤な消化管潰瘍のある患者【炭酸水素ナトリウムを配合しているため、症状が悪化するおそれがある。】
 - 腎障害のある患者【ナトリウム貯留による浮腫があらわれるおそれがある。】
 - 心不全の患者、高血圧症の患者【ナトリウム過剰により、これらの症状が悪化するおそれがある。】
 - 肺機能障害のある患者【呼吸性アルカローシスになるおそれがある。】
 - 低クオール性アルカローシス等の電解質失調の患者【症状が悪化するおそれがある。】
2. 相互作用
(1) 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
マンデル酸ヘキサミン（ウロナミン腸溶錠）	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。

- 併用注意（併用に注意すること）
本剤は利尿作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄にも影響を与えることがある。
- 高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているため、減量するなど注意すること。

【取り扱い上の注意】
本剤は生薬が含まれていますので、産地、採取時期等により、製品の色調が多少異なることがあります。